

## 校区の概要

本校区は高松市の南部に位置し、上林町、林町、六条町より成っている。人口14,464人(令和5年4月1日現在)、面積5.8km<sup>2</sup>である。かつては落ち着いた田園風景の見られる自然豊かな地域であったが、今や所々にその姿を留めるに過ぎなくなってきた。

南部の空港跡地には、県立図書館をはじめ、工業技術研究所、頭脳化センター、サンメッセ、香川大学工学部等、技術・情報・文化の複合拠点として「香川インテリジェントパーク」の諸施設が整備されている。

北部は平成13年に、北部の国道11号高松東道路と高速道路をつなぐ高松中央インターチェンジが完備した。一段と交通事情が激しくなり、安全面について常にきめ細かな指導をしている。国道11号高松東道路をはじめ、それに伴う都市計画事業が推進され、マンション・住宅の造成が進み、高松のベッドタウンとして急速な発展をみせている。現在、林小学校は、児童数約1000名に近い大規模校となっている。

保護者の教育的関心は高く協力的であり、クラブ活動や総合的な学習における地域の人々との交流学习が盛んである。地域・保護者と学校が一丸となって心身ともにたくましい児童の育成に取り組んでいる。

